

知事に協力を要請

水俣病患者
者互助会

こんごの補償問題

水俣病患者互助会の山本亦由会長、中津美芳副会長は、三十日午前、県庁に寺本知事をたずね、今後の補償問題などにあたつての知事の協力を求めた。

山本会長らは、水俣病が公害に認定されたことに對するお礼を述べたあと「今後補償問題などが残

るが、これについてはわれわれの手に負えない点も多い。二日に上京して岡田厚相とも会い、今後の互助会としての態度について意見を聞くが、場合によっては援助願いたい」と知事の協力を求めた。

これに對し寺本知事は「三十四

年のあつせん当時と事情も変わってきたので、会社との再交渉は当然だ。水俣病が公害補償の先例をつくることになるので、全国的な事情をよく知っている厚相と話し合われるのも結構だと思つ。知事あつせんということになれば、協力したい」と答えた。

山本会長らは、このあと熊本大学医学部をたずね、当時の水俣病

研究班スタッフに礼を述べて回つた。